

中国出身の木下恵介記念館キュレーター

戴 周傑さん 30

中国湖南省出身で、浜松市中区の木下恵介記念館のキュレーターを務める。特別展示や上映会、シンポジウムの開催など、日中の映画の魅力を伝えようと奔走している。進学した北京電影学院で、木下恵介さんが監督を務めた「檀山節考」を鑑賞。日本映

映画で日中つなぐ



おはよう

画に興味を持つきっかけとなった。歌舞伎を用いた演出など「日本映画にしかできない方法で、衝撃的だった」と振り返る。

2015年に来日し、東京芸術大大学院に留学。イラン国際映画祭に参加し「映画を通じて、人と人がつながるのが大切」と感じるように。その後、コロナ禍となり、帰国できなくなった。日本での就職を考え、現在の仕事に就いたのは運命的」と語る。

今は、日中映画の交流事業に精力的に取り組んでいる。「中国人ならではの活躍をしたい。映画文化を発信し、両国の架け橋になりたい」。浜松市中区。

(柳昂介)